

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	森林バイオマスグループ	課長名	高野耕治
施策名	(34) 林業の振興	担当者名	山本章平	電話番号 (内線)	0854-40-1051 3705
基本事業名	(102) 適切な保育管理	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011310115715	森林整備地域活動支援交付金	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (H 年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (19 年度 ~ 24 年度)	森林所有者等による計画的で適切な森林整備に対する支援事業。 ①事業説明会の開催②森林施業計画策定への指導・助言③事業協定締結④交付申請書の受付・決定⑤県・国への交付申請・報告業務⑥交付申請者への指導・助言⑦事業完了検査⑧交付金の支払い等	森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林施業計画による計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため平成14年度から事業開始。平成18年度に事業が一旦終了したが、継続要望が強く、内容を若干変更され作業路網の改良活動等について平成19年度から平成24年度までの6年間実施にされることとなった。

(2) トータルコスト

	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)							
作業路網の改良活動:5件 合計 11,584.62ha 56,563千円 (大原森林組合・飯石森林組合・日新林業㈱・㈱田部・島根県林業公社)	事業内訳 国庫支出金	千円	75,675	92,940	28,556	36,517	233,688
	県支出金	千円	14,092	14,008	14,003	18,259	60,362
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円	14,093	14,009	14,004	18,260	60,366
事業費計 (A)	千円	103,860	120,957	56,563	73,036	0	354,416
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)							
①森林施業計画指導②協定締結③交付申請・決定④報告業務⑤申請者指導・助言⑥完了検査⑦交付金支払⑧交付申請者への説明	人件費 正規職員従事人数	人	4	4	4		
	延べ業務時間	時間	400	400	400		
	人件費計 (B)	千円	1,526	1,555	1,577	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	105,386	122,512	58,140	73,036	0	354,416

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動 23年度実績(23年度に行った主な活動) ①森林施業計画指導②協定締結③交付申請・決定④報告業務⑤申請者指導・助言⑥完了検査⑦交付金支払⑧交付申請者への説明 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 平成23年度と同様	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	⑤ 活動指標							
	ア 交付申請数	件	5	5	5	5		5
	イ							
	ウ							
	エ							
	オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか) 森林所有者等 雲南市内の民有人工林。	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	⑥ 対象指標							
	ア 林家数	戸	3,779	3,779	3,759	3,759		3,759
	イ 市内の民有人工林面積	ha	18,053	18,053	18,053	18,053		18,053
③ 意図(対象がどのような状態になるのか) 森林所有者等による森林の適正な管理	⑦ 成果指標							
	ア 森林施業計画面積	ha	11,260	11,261	11,585	11,585		11,585
	イ							
	ウ							
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか) 森林を適正に保全する。	⑧ 上位成果指標							
	ア 間伐実施面積	ha	639	442	530	590		590
	イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
材価の低迷が続き、森林所有者等による自主的施業は困難になっている。そのため事業体による施業集約化によるコスト低減が求められている。本事業は平成23年度に制度改正され、今後の利用間伐等の施業に必要な施業集約化と路網改良が制度の対象となった。	特になし	森林所有者等から森林を管理することは環境保全にもつながるので積極的に取り組みたいという声から寄せられている。 林業事業体からは施業実施には必要不可欠な事業であるとの意見が出されている。

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 森林所有者等による森林施業の実施を支援することは、森林の適正な保全につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 関係要綱等により市が実施することになっている。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象は、雲南市の全ての森林を対象とする事業である。対象者の森林整備の推進を図る意図も適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 事業対象は、国有林、県有林、市有林以外の雲南市内のほぼ全ての森林が対象となっているため向上の余地がない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 林業事業体等の森林施業の意欲低下につながり、結果として森林の荒廃が進む。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はないため統廃合は出来ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 国で単価が設定されているため削減は出来ない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 適切で計画的な事務事業実施に努めているため削減は出来ない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益者は、雲南市の全ての森林所有者が対象となっており、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成14~18年度の5年間の一期事業が終了し、若干事業内容を変えて、平成19年度から5年間の2期目の対策が行われている。森林整備を適正に行っていくために、必要不可欠な事業であることから、今後も積極的に取り組んでいきたい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
本事業を単に実施するだけでなく、施業計画に基づく施業の実施に併せ推進していく必要がある。																							